



全員が学級・学年・学校の一員としての自覚をもって

大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校
校長 辻村 由香里

令和7年度の学校生活も3ヶ月が過ぎようとしています。学年でめざす生徒の姿を示した「学年目標」のもと、それぞれの学級で4・5月の日常生活を経て、集団としての成果と課題を明らかにして話し合いを重ね、学級目標を設定しました。中には、一人一人の思いを1つの言葉にまとめるのに、時間がかかった学級もあったと聞いています。自分たちの1年間の目標であるからこそ、お互いの思いを尊重しながら自分たちで考える過程を大切にすることは、決して無駄ではないと信じています。最終的にどんな言葉であっても、そこに込められた思いや願いを達成するために向上心をもつ「ポジティブなしなやかさ」が必要です。

- 具体的な方法や求める姿を設定し、満足できる姿となったことで喜び合う。
 - それを日常生活で継続できることで成長を実感する。
 - 上手くいかないときは原因を振り返り、誰かや何かのせいにして終わるのでなく、解決方法を学級全員で真剣に考え、動き出す。
 - 休み時間、給食準備・片付け、掃除での姿こそ、学級の真価が問われる。
- そして最後に、学級の仲間との連帯感が生まれ、「この学級の一員でよかった」と誰もが思える学校生活となることを大いに期待しています。

【学年・学級目標】

1年 わ ～和・話・輪～

1 A 「一歩前進 ～協力・挑戦・笑顔～」

1 B 「一致団結 ～協力・連携～」

1 C 「Show Time」

2年 共鳴 ～心で響き合おう～

2 A 「日進月歩 ～考動・尊重・継続～」

2 B 「熱丸一星 ～全力・笑顔・挑戦～」

2 C 「想気円満 ～楽しい・頼もしい・たくましい～」

3年 勇往邁進 ～学習・自立・率先・責任～

3 A 「放つ精彩」

3 B 「煌星連結」

3 C 「美希 ～信念・貫通・完遂～」

3 D 「限界突破 ～無敵のクラスへ～」

ひびき「成長」

のぞみ「あきらめない -協力・仲間を大切に-」

わかば「共に歩もう ～仲間・心・学び～」

目標設定後、1・2年生の宿泊研修や3年生の修学旅行が行われ、学級、学年の「現在地」を確認することができました。まずは、夏休みまでの1ヶ月のゴール（目指す姿）に向かって、素晴らしい姿を見せてくれることを楽しみにしています。



2年生 神子研修 5月29日(木)～30(金)

スローガン「力戦奮闘～呼应・礼儀・深い絆～」の達成に向けて、事前の取り組みから素晴らしい姿がたくさん見られました。整然とした挨拶の姿、自分の役割をきちんと果たそうとする掃除の姿、仲間の呼びかけに応じて黙々と取り組む自習の姿、どれもスローガンを意識したものでした。

前の活動が長引いて次の活動に遅れそうなときは声をかけ合って急いで移動したり、民宿の玄関では整然と靴を並べたりする姿など、事前取組で高めてきた力や仲間との絆を精一杯発揮して、2日間の活動に取り組んでいました。

神子研修でつけてきた力を生かして、自分にできることは何かを生徒一人一人が考え、さらに素晴らしい学年を創ってほしいと願っています。



3年生 修学旅行 6月4日(水)～6日(金)

学年目標「自己実現への道のり 勇往邁進」を意識して、事前取組の成果を生かした学びの多い3日間でした。おもてなしの精神を学ぶディズニーアカデミーでの研修では、生徒がゲストとキャストになりきって相手の立場に立った話し方を実演し、学校や社会生活で大切にする言動について学ぶことができました。

全体で集まった時に「静かにするよ」と声をかけたり、率先して食器を片付けたり、仲間の体調を気にかけて声をかけたりする姿があり、改めて3年生の温かさを感じることができました。これらの姿は、自分の役割を果たそうという責任感の現れであるとも言えます。

修学旅行で高めた力をさらにレベルアップし、義務教育の集大成である3年生をやり切りたいと思います。



PTA除草作業ボランティア 6月21日(土)

PTAの新たな事業として、ボランティアを募って除草作業を行いました。当日だけでは刈りきれない量の草があったため、この週の間事前に草刈り作業をしてくださった方がみえ、たいへん有難かったです。当日は11名の方が参加し、1時間ほど除草作業をしていただきました。おかげで校地内がすっきりときれいになりました。本当にありがとうございました。子どもたちのためにできることは協力しよう、というお気持ちがとても難しいです。

次回は9月の末から10月初旬にかけてボランティアを募って行う予定です。皆様のご参加をお願いいたします。



【7月の行事予定】

【8月】

※ 行事予定は削除してあります。

【9月】

【交通安全について】

町内の児童生徒が交通事故に遭っており、その都度全校生徒に向けて指導をしてきました。

- ・細い道から広い道に出る際に、一旦停止・左右確認をしないで飛び出し車と接触。
- ・カーブになった見通しの悪い堤防道路を横断する際、左右確認をしたが走ってきた車と接触。
- ・交差点で自転車がスピードを出したまま膨らんで左折したため、右から来た車と接触。
- ・登校途中で車との接触事故があったが、本人から登校してすぐに報告がなかった。また、事故が起こったその場で警察を呼んでいなかった。

事故防止のためには、確実な一旦停止や前後左右の十分な安全確認を行ったり、並進をしないようにしたりするなど、危険を予測し事故に遭わないようにする注意深さが必要です。運転手とアイコンタクトをとることが事故防止のためのポイントです。また、事故にあった際には、必ずその場で相手の方や近所の人から警察や学校に連絡してもらうことも重要です。

上記のことについて、保護者の皆様からもお子様に話をしていただけるとありがたいです。また、慌てているときほど事故に遭いやすいため、時間にゆとりをもって家を出していただくよう、お子様の命を守るためにどうかよろしく願いいたします。